

◆ 実戦問題 39 ◆

(処刑を間近に控えた*三位の中将は、護送の途中、妻との対面を許された。)

三位の中将、泣く泣くのためひけるは、「いかにもして、今一度、御姿をA見奉らばやと思ひつるに、今はつゆばかりも思ひ置くことなし。出家して、形見に髪をも奉らばやと思へども、(1)許されなければ、力及ばず」とて、額の髪を少し引き分けて、口の及ぶ所を少し*噛み切つて、「これを形見に御覧ぜよ」とてB奉り給ふ。(2)北の方は、日頃おほつかなと思しけるより、今ひとしほ悲しみの色をぞまし給ふ。「まことに別れ奉りし後は、*越前の三位の上のやうに、水の底にも沈むべかりしが、まさしくこの世に。おはせぬ人とも聞かざりしかば、*もし、不思議にて、変はらぬ姿を見もし見えもやすると思ひてこそ、憂きながら今まで長らへてありつるに、今日を限りにておはせんずらむ悲しさよ。*今まで延びつるは、もしやと思ふ頼みもありつるものを」とて、昔今のことどものたまひかはすにつけても、ただ尽きせぬものは涙なりけり。北の方、「*あまりに御姿のしをれてC候ふに、奉り替へよ」とて、*裕の小袖に*浄衣を出だされたりけり。

● 白百合女子大(文) 出題文

設問

問1 傍線A～Cについて、

(i)含まれる「奉る」は次のうちどれか。最も適当なものを、次の中からそれぞれ一つずつ選べ。

- ①「与ふ」の謙譲語 ②謙譲の補助動詞 ③「食ふ」の尊敬語
④「着る」の尊敬語 ⑤「乗る」の尊敬語

問2

(ii)傍線③～⑤の敬語は、誰から誰に対する敬意を表しているか。最も適当なものを、次の中からそれぞれ一つずつ選べ。

- ①「作者」から「三位の中将」に ②「作者」から「北の方」に
③「三位の中将」から「北の方」に ④「北の方」から「三位の中将」に
⑤「北の方」から「越前の三位の上」に

問3

傍線(1)「許されなければ」とあるが、何が許されないのか。最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

- ①妻と対面すること ②出家すること
③釈放されること ④自分の髪を切つて妻に渡すこと
⑤自害すること

問4

傍線(2)とあるが、「北の方」はなぜこのような様子であったのか。その理由を五十文字以内で説明せよ。

出典

『平家物語 第十一「重衡被斬」』

『平家物語』は、p106参照。

*三位の中将＝平重衡。源平の戦いで源氏方に捕らえられ、奈良に護送されて行くところである。

*噛み切つて＝食い切つて。囚人なので刃物を用いることは許されない。

*越前の三位の上＝平通盛の妻小宰相。彼女は、夫のあとを追って入水自殺した。

*もし、不思議にて＝もしや、思いがけなく。

*今まで延びつるは、もしやと思ふ頼みもありつるものを＝今まで(処刑が)延びていたのは、もしかして(あなたが許されるかもしれない)と思う期待もあったのに。今このように妻と会わせられたことで、処刑が近いことを感じた

のである。

*あまりに御姿のしをれて候ふに＝あまりにお着物が糊気がとれてよれよれになっていますので。

*裕の小袖＝「裕」は裏地のついた衣。「小袖」は袖の小さい下着。

*浄衣＝白い布、または白く仕上げた絹で仕立てた狩衣(＝男性貴族の平服)。

単語チェック

- ☑つゆ(打消) 呼応の副詞
☑おほつかなし 形ク
☑見ゆ 動 ヤ下二
☑憂し 形ク